

中央会事業より

経営力強化支援事業を実施 ～早口木材株式会社(協)秋田木材コンビナート～

8月30日(金)、協同組合秋田木材コンビナートの組合員企業である男鹿市の早口木材株式会社(大坂真一社長)を対象に、経営力強化支援事業を実施しました。

この事業は、企業の生産活動における経営課題の解決や、利益確保に関する現場改善等の手法について、専門家による具体的な支援を集中的に行い、企業の経営力強化を図るものです。

今回は、製材工場の今後の設備投資を考える上で、工場の生産力を具体的に把握し、作業の標準時間等を計測し、生産性向上に向けてスタートラインを数値化して明確にするため、専門家に本会職員が同行し、ヒアリング調査と工場内視察を行い、課題の抽出を行いました。

専門家によると、「経営者と生産現場が共通の目標を認識し、社員のモチベーションを向上させるためには、企業運営ビジョンを示すことが改善への第一歩である。」と述べました。また、製材機械設備の修繕はもちろんのこと、5S活動の必要性についても指摘しました。

今後は、今回抽出された課題について、改善に取り組んだ結果を確認し、検証作業を行う予定です。



【専門家(左)の話を聞く大坂社長】

6次産業化出前講座(秋田市受託事業)を開催

9月11日(水)、秋田市河辺のJA新あきた河辺支店において6次産業化出前講座を行い、28名が受講しました。

この事業は、今年度の秋田市6次産業化人材発掘・育成研修事業の一環として実施したもので、湯沢市の企業組合AGRICH理事の藤川幸久氏を講師に迎え、6次産業化の魅力について講演が行われました。

藤川氏は、「6次産業化は、農山漁村のさまざまな資源を活用して価値を創造する活動であるが、販路がないまま過剰な投資をすると破綻することになる。まずはできることから始めることが鉄則である。」と述べました。

また、企業組合制度の活用についても触れ、グループが最小限の費用で法人化するのに適した制度であることが説明され、出席者は真剣に耳を傾けていました。



【出前講座の様子】

組合活力向上事業を開催 ～秋田家電事業協同組合～

9月13日(金)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田家電事業協同組合(千葉三四郎理事長)の組合員を対象に、第1回組合活力向上事業(研修会)が開催され、27名が参加しました。

本事業は、顧客満足度向上策について学ぶことにより、大手家電量販店との差別化を図り、地域家電店として業績改善を目指すことを目的に開催したものです。

研修の中では、CS(顧客満足)の考え方や顧客の特性、業種・業態に関係なくCSを高めるためのポイントなどについて具体的な事例を交えながら、説明がなされました。

講師の福島氏は、「家電販売店が目指すべきゴールは、全ての顧客にハピネスを提供することである。大事なのは『誠実さ』であり、顧客の気持ちを汲み取り顧客の希望に最大限応えるサービスをする気持ちがホスピタリティを育み、新しいサービスを生み出す。」と述べました。

組合では、第2回に向けて、各組合員に実践させ、実践結果について講師へ事前に提出する予定です。



【研修会の様子】

組合活力向上事業を開催 ～秋田県電気工事工業組合～

9月18日(水)、大館市の大館労働福祉会館において、秋田県電気工事工業組合(千葉三四郎理事長)の組合員を対象に、第1回組合活力向上事業(研修会)が開催され、39名が参加しました。

本事業は、昨今飛躍的に技術が進歩し、急速に普及している再生可能エネルギーについて、組合員の資質向上を目指し、それに対応した事業展開を図ることを目的に、県北・中央・県南の3会場で開催するものです。

今回は、「新エネルギーの利用と課題～今後のライフスタイルと新事業の創造～」をテーマに秋田県立大学生物資源科学部付属フィールド教育研究センターの小林特任教授から講演がありました。

小林氏は、「新エネルギー(太陽光及び風力)の課題は、初期投資の大きさである。ソーラーパネルや風車の価格はまだ高く、設置場所も大きな面積を必要とし、周辺環境への影響や暴風・雷等のリスク管理の問題も生じる。だが、固定買取価格制度等により、今後も確実に増加することが見込まれ、設置コストが下がれば、一般家庭への普及も考えられる。」と説明した上で、「業界としても大きなチャンスであるので、新たな対応をすべきである。」と述べました。



【講演する小林特任教授】

第3回スキルアップセミナーを開催

9月20日(金)、秋田市のにぎわい交流館AUにおいて、第3回スキルアップセミナーを開催し、会員組合等から20名が参加しました。

本事業は、組合運営の要となる事務局役職員の資質向上を図り、組合の活性化に資することを目的として、様々なジャンルの講師を招いて4回開催するものです。

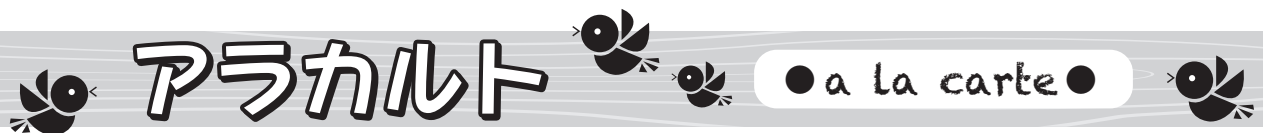
3回目となる今回は、「段取りで変わる効率的な仕事の進め方」をテーマに、AAB秋田朝日放送コンテンツ局シニアプロデューサーの山崎宗雄氏よりお話いただきました。

山崎氏は、「どんな仕事にも必ず締め切りがある」とし、事前の準備作業とスケジュール管理を徹底することが進め方のポイントであること、また、仕事を成功させるためには仲間の力が大きいため、信頼できる人間関係づくりも重要であること等のアドバイスがあり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

最終回は10月29日(火)午後3時から、秋田市にぎわい交流館AUにおいて株式会社角川プロダクションの森好文氏を講師に迎え、「情報発信とプロモーション」をテーマに開催します。



【講演する山崎宗雄氏】



■イベント(タイムマシンプロジェクト)を開催 ～秋田市大町商店街振興組合～

9月21日(土)、秋田市のサン・パティオ大町において、「タイムマシンプロジェクト」が開催されました。このイベントは、秋田市大町商店街振興組合(高堂裕理事長)が企画したもので、当日はオープニングイベントとして、市内のアマチュアバンドが昭和歌謡やビートルズの曲などを演奏しました。

また、本会場中庭や菓子舗榮太楼大町店などでは、昭和30～40年代に大町周辺で撮影された街並みの写真パネルが展示され、秋田銀行大町支店では写真のスライドショーが行われました。

イベントは1週間にわたって開催、最終日の28日(土)には、昭和30年代に市内でロケが行われた映画2本が上映され、会場を訪れた人達は、当手を振り返り、懐かしそうに写真を見ていました。



【オープニングイベントの様子】

秋田県の最低賃金が改正されます 【秋田労働局】

10月26日(土)から、秋田県の最低賃金が現在の654円から11円引き上げられ、665円に変わります。

最低賃金はすべての労働者に適用されます。最低賃金額より低い賃金を労使合意の上で定めても、最低賃金法によって無効とされ、最低賃金額と同様の定めをしたものとみなされますので、事業主の皆様におかれましてはご注意ください。

秋田県の最低賃金(1時間当たり)

665円

発効日 平成25年10月26日

【お問い合わせ先】 秋田労働局労働基準部賃金室 ☎018-883-4266

ミラサポ専門家派遣システムについて 【中小企業庁】

中小企業庁では、中小企業・小規模事業者の未来をサポートするサイト「ミラサポ」をプレオープンしており、この10月1日にグランドオープンします。

本サイトの主要な機能は3つです。

- ①国や公的機関の支援情報・支援施策の提供
- ②中小企業者や専門家との間でやりとりができる「コミュニティ」の形成
- ③専門家派遣事業の手続きは、本サイトの「専門家派遣システム」を利用して行うこと

ミラサポには中小企業・小規模事業者とその支援を行う支援機関・専門家の皆様のニーズに応じた2つの情報提供の窓口があります。支援情報を見る等の基本的な機能は会員登録なしでも利用できます。

中小企業・小規模事業者の経営の悩みに対する、専門家や先輩経営者による生きたアドバイスを聞きたい方は→「ミラサポNEWS」

中小企業・小規模事業者を対象とした、国や公的機関の支援情報・支援施策をテーマ別/施策種類別で簡単に入手したい方は→「施策ポータル」

また、会員登録すれば、以下のメリットがあります。

- ①全国の事業者・専門家などが参加する「ミラサポ・コミュニティ」で交流できる。
- ②ビジネスの成功をサポートする便利で実用的なツールが無料で使える。
- ③あなたが抱える経営課題に応える専門家の派遣が無料で受けられる。
- ④補助金の(電子)申請がカンタン・便利にミラサポからできる。
- ⑤あなたの関心に合ったオススメのビジネス情報が受けられる。

【ミラサポHP】 <https://www.mirasapo.jp/specialist/>

ミラサポ運営事務局 コールセンター ☎0570-057-222

再生可能エネルギー設備資金をご活用ください 【秋田県】

秋田県では、「再生可能エネルギー設備資金」により、太陽光・風力・水力・地熱発電の設備を設置し、発電事業を行う中小企業者について、設備建設を支援します。是非、ご活用下さい。

- 貸付期間 15年以内(据置期間3年以内)
- 利率 (年)1.95%
- 保証料率 0.6%以下

【お問い合わせ先】 秋田県 産業労働部 資源エネルギー産業課 ☎018-860-2282

平成25年度後期技能検定について 【秋田県】

秋田県では、平成25年度後期技能検定の受験者を募集しています。

○技能検定とは

技能者の皆さんがもっている技能の程度を一定の基準によって検定し、それを公証する技能の国家検定

制度で職業能力開発促進法に基づいて実施されます。検定職種ごとに特級、1級、2級及び3級に区分するものと等級に区分しないもの(以下単一等級という)とあり、実技試験と学科試験によって行われます。

技能検定に合格すると、特級、1級及び単一等級は厚生労働大臣名の2級及び3級は県知事名の合格証書が交付され、法に基づいて「技能士」と称することができます。

技能者の皆さん、自分の技能に自信と誇りをもって、この検定制度を大いに活用しましょう。

○受検申請受付：平成25年10月7日(月)～10月18日(金)

○実技試験 問題公表 平成25年11月27日(水)

実施 平成25年12月4日(水)から平成26年2月16日(日)まで

○学科試験 平成26年1月26日(日)、平成26年2月2日(日)、
平成26年2月5日(水)、平成26年2月9日(日)

○合格発表 平成26年3月14日(金)

【お問い合わせ先】 秋田県職業能力開発協会 ☎018-862-3510

キャリア教育アワード・キャリア教育推進連携表彰について 【経済産業省】

経済産業省では、子どもや若者たちに対して、仕事のやりがいや学校での学びと実社会とのつながりを伝える「キャリア教育」に取り組む企業等の活動を表彰する「キャリア教育アワード」を開催します。

また、教育関係者と地域・社会や産業界の関係者とが連携・協働して取り組む「キャリア教育」の先進事例を表彰する「キャリア教育推進連携表彰」を文部科学省と共同で実施しますので、是非、ご応募下さい。

○募集締切 平成25年11月29日(金)必着

【お問い合わせ先】 経済産業省 経済産業政策局 産業人材政策室 ☎03-3501-2259

組合相談コーナー 行方不明組合員の 出資金整理について

Q 組合員Aは、○年に組合に加入し、×年まで組合を利用していましたが、その後行方不明となりました。組合としては、Aの出資を整理し実質上の組合員の出資のみとしたいのですが、どのような処理が適当なのでしょう。なお、Aの組合に対する負債はありません。

A 出資を整理するには、組合員Aが組合を脱退することが前提となるので、行方不明組合員については①資格喪失による脱退か、又は②除名による強制脱退が考えられます。

もし、行方不明と同時に事業を廃止しているのであれば、資格喪失として処理することが可能です。この場合、組合員たる資格が喪失したことを理事会において確認し、議事録にとどめると同時に、内容証明郵便をもって持分払戻請求権の発生した旨の通知を行うことが適当と考えられます。

除名は総会の議決を要し、この場合、除名しようとする組合員に対する通知、弁明の機会の付与等の手続が必要ですが、組合員に対する通知は組合員の届出住所にすれば足り、この通知は通常到達すべきであった時に到達したものとみなされます。

弁明の機会の付与については、その組合員が総会に出席せず弁明を行わない場合は、その組合員は弁明の権利を放棄したものとみなされ、除名議決の効力が続きます。

なお、除名が確定した場合は、資格喪失の場合と同様の通知とするのが適当です。

以上の手続により、当該組合員に持分払戻請求権が発生しますが、その請求権は2年間で時効により消滅するので、時効まで未払持分として処理し、時効成立を待つこれを雑収入または債務免除益に振り替えるのが適当です。

ちなみに、Aが組合に対して負債がある場合は、持分の払戻し停止、あるいは払い戻すべき持分とその債務と相殺することができます。

※なお、ご不明な点がございましたら、本会までお問い合わせください。

秋田ものづくりサミットが開催される【秋田県・あきた企業活性化センター】

9月5日(木)、秋田市の秋田ビューホテルにおいて、「秋田ものづくりサミット」が開催されました。このサミットは、生産現場の「カイゼン」の重要性について理解を深め、秋田のものづくり産業が力強く発展していくことを目的に、秋田県と公益財団法人あきた企業活性化センターが主催したものです。

当日は、佐竹知事の開会挨拶の後、二ツ井パネル株式会社と株式会社Nui Tec Corporationの2社から生産現場カイゼン成果発表が行われ、効率的な生産を行い、資金繰りの改善を図るため、リードタイムの短縮と仕掛量削減を中心に活動を展開したことなどが報告されました。

引き続き、「秋田県企業が目指すべきものづくり」と題して、トヨタ自動車東日本株式会社名誉顧問の内川晋氏より基調講演が行われ、「資金や力が不足している中小企業は、カイゼンの積み重ねが大切になってくる。現状に満足せず、何のためにやるのかが明確になれば様々な手段が見えてくるはずである。」と述べました。

最後に、内川氏及び成果発表した2社と、株式会社小滝電機製作所、千代田興業株式会社をパネラーとして、パネルディスカッションが行われ、各社の取組状況やカイゼン推進にあたり心がけたこと等についての意見交換があり、出席者は熱心に聴講していました。



【秋田ものづくりサミットの様子】

第33回秋田県特産品開発コンクール表彰式が開催される

9月11日(水)、市場性・商品性・品質デザイン等に優れた作品を表彰する「第33回秋田県特産品開発コンクール表彰式」が秋田市のアトリオンで行われ、加工食品部門98点の中から、男鹿市の三和商事株式会社「旬魚房匠」の「天然真鯛カラスミ」が奨励賞(秋田県中小企業団体中央会会長賞)を受賞しました。

本商品は、一般的には珍しい天然真鯛の卵を使用したカラスミで、生臭さやえぐ味がなく、上品で濃厚な味わいが特徴であり、無添加・無着色で化学調味料を一切使用していない点が売りとなっています。

なお、加工食品部門最優秀賞(秋田県知事賞)には、湯沢市の有限会社佐藤養悦本舗(秋田県稲庭うどん協同組合)の「稲庭中華そば」が選ばれました。

コンクールでの入賞商品は、アトリオン地下1階「あきた県産品プラザ」にて今後販売されますので、是非お試しください。

【お問い合わせ先】

株式会社秋田県物産振興会 ☎018-836-7830



【天然真鯛カラスミ】

小林努氏が重量挙げ世界マスターズ大会で銅メダルを獲得！

9月2日(月)、本会OBで中小企業組合士の小林努氏が本会を訪れ、重量挙げの2013年世界マスターズ選手権大会で3位に入賞したことを報告しました。この大会は8月上旬にイタリアのトリノで開催され、小林氏は80歳以上77キロ級に出場し、スナッチ43キロ、ジャーク54キロをマークし、初挑戦で見事銅メダルを獲得したものです。

小林氏は、一念発起した理由について、「選手権大会に後輩や昔の仲間が出場しており、自分も挑戦しようと思った。」と語りました。

また、「今回は77キロ級に挑戦したが、一つ階級を下げていれば、69キロ級で金メダルだったので、少し悔やんでいる。今度は金メダルを狙う。」とも話し、次回への意欲を見せました。

今後は、練習を重ねて自己記録をどんどん伸ばし、再挑戦に向けて調整していく予定です。本会としても、今後、ますますのご健闘を期待しております。



【小林努氏】

支援団体活動レポート

みやぎレディース中央会との交流会を開催 ～あきたレディース中央会～

9月12日(木)、秋田市の「秋田温泉さとみ」において、あきたレディース中央会(明石喜美会長)とみやぎレディース中央会との交流会が開催されました。

本交流会は、みやぎレディース中央会が、各県レディース中央会との連携を強化し、女性経営者の資質向上を図ることを目的に開催したもので、当日は女性経営者等17名が出席しました。

交流会では、まず、両県のレディース会の活動状況や今後の取り組み、各企業等の取り組み等について、情報交換会が行われ、出席者による熱心な意見交換が行われました。

また、併せて、会員企業の自己紹介&PRも行われました。

引き続き、懇親会が開催され、終始和やかな中、盛会のうちに終了しました。



【交流会の様子】

企業活動成果発表会を開催 ～あきた工業団体連絡協議会～

9月20日(金)、秋田市の秋田県産業技術センターにおいて、あきた工業団体連絡協議会の第1回企業活動成果発表会が開催され、協議会会員など約80名が出席しました。

本協議会は本会が支援している秋田県アパレル産業振興協議会など3団体で結成された団体であり、今回の発表会は企業振興事業の一環として開催されたものです。

当日は、秋田県アパレル産業振興協議会の会員企業の大同衣料株式会社と株式会社十文字サントップの2社を含む会員企業6社から企業活動の成果発表が行われ、発表後は、職業能力開発総合大学校の入倉教授から講評が行われました。

出席者は、異業種企業の活動内容について興味深く聞き入っていました。



【企業活動成果発表会の様子】



組合ティールーム

上野台堆肥生産協同組合

理事長 山岡 緑三郎 さん

○業界の現状について

当組合は、下水道汚泥などの有機性廃棄物を醗酵させた有機質肥料(コンポスト)の生産及び販売を目的として、平成13年7月に設立しました。平成14年に工場を本格稼働し、秋田市や南秋地域等の下水道汚泥を受け入れ、醗酵・乾燥させ、平成16年から「アキポスト」として生産・販売を行っています。

現在、下水道汚泥はその多くが産業廃棄物として焼却処分されていますが、汚泥の焼却は化石燃料を大量に必要とし、二酸化炭素と焼却灰が排出されます。しかし、当組合で生産しているコンポストは全量が堆肥として土に帰るので、とてもエコであり、生産分が即完売するなど需要はますます高まっています。

○理事長としての抱負について

本組合のコンポストは、9年間の販売実績があり、肥料を使用して生産した米が食味コンクールの特別優秀賞を受賞するなど、農業生産法人等の使用者から良い肥料として認めていただいております。このことをもっと評価していただき、将来的には県内全域の下水道汚泥を受け入れて、循環型社会の形成に貢献できれば良いと思います。

○座右の銘について(普段心がけていること)

座右の銘ではありませんが、好きな言葉の一つに「一生懸命」があります。何に対しても一生懸命な人には好感が持てますし、自分自身もそうありたいと思っています。また、いつも健康には心がけており、一番気にしていることでもあります。

○趣味について

以前はゴルフでしたが、最近の趣味は「旅行」です。旅行先はほとんどが国内で、温泉に入ったりします。今後は、まだ行ったことがない離島や最北端の地などに行ってみたいと思っています。

